



か え で ゆ う び ん 6月号



2024年6月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
か え で 保 育 園
園 長 引地 美津代

3年ぶりの全園児で行えた「うんどうはっぴょう会」いかがでしたか？職員と子どもたちの日頃の様子や園庭での営みを自然体でどう伝えていくか・・・を話し合います。幼児クラスは子どもたちが興味関心のあるもの・今取り組んでいることなどを中心にかえで保育園ならではの異年齢での良さをとお見せする内容に仕上がりました。

行事のために何か特別のことを教え込むことは子どもにとっては面白いことでもやってみたくいことでもなく、ただやらされた時間になってしまいます。そんな時間を過ごすよりいつもキラキラ輝き、やりたい・おもしろかった事をたくさん経験できることこそ、「やる気」につながりそのやる気こそが学びになっていきます。

「できる・できない」「しょうず・へた」の評価より、「やってみたくい」「じっくりかんがえてみる」を重視して今後も保育を進めていきます。

お忙しい中のアンケートの回答ありがとうございました。温かい言葉をいただき、職員もどんどんやる気・元気をもち保育に携わっていきます。また、今年は平日に「運動はっぴょう会」を行えたことで休みを返上してきた今までより職員の体の負担も大変軽減できました。

これからも毎日元気に子どもたちの言葉にもしっかりと応答し、日々のお子様の小さなつぶやきにも丁寧に向き合い、心の成長のサポートを進めていきます。ご協力ありがとうございました。

さて、今年も「エルニーニョ現象」により、どんどん高温になるという予想が出ています。この先、自然の事象はどうなっていくのか・・・と毎年不安が大きくなっています。園では秋の「うんどうはっぴょう会」を春に移行し、夏の水遊びも日陰の短時間で行ったり・園外保育も控えたりして対応してきました。今年はコロナ禍以前の生活を思い出しながらまた新たな取り組みも進めていきたいと計画しています。6月の乳児クラスの懇談会も短時間ですが、皆で話し合いながら情報交換できる時間になるよう準備しています。繰り合わせご参加ください。

～ダンディタイムのお誘い～

お父さん・おじいさん参加のダンディタイムは6月～7月初旬に今年初めての休日に「親子で楽しめる木工体験」を計画しています。皆で準備を進めてを行いますのでお時間のある方はキットづくりをお手伝いください。

平日 午前：10：00～12：00 午後 13：00～15：00

お手伝いの方には昼食をプレゼントいたします。

カレンダーを掲示しますので可能な方はお名前を書いてください。

おねがい



- ・園の前は駐停車禁止です。通行の妨げになるとともに園児の飛び出し等大変危険です。また、駐車場利用は短時間をお願いします。
- ・子どもたちの待ちに待った水・泥んこあそびを行います。全園児、シャワー後の体を拭くタオルが毎日必要となります。**着替えを多めにご用意いただくと共に、汚れ物入れ（ビニール袋を準備いただき）持ち物に名前があるかの確認をお願いします。**

おしらせ



6月の予定

- ・10日（月）月例健診
- ・11日（火）大人クッキング～かえでカフェ
- ・15日（土）同園会
- ・21日（金）誕生会

※卒園児の行事です。全園児家庭保育にご協力をお願いします。

- ・13日（木）ふたば懇談会 16:30～17:45
- ・20日（木）つぼみ懇談会 16:30～17:45
- ・25日（火）めばえ懇談会 16:30～17:45

※めばえ・ふたば組のお子さまは同じ部屋で保育者の見守りの中話を進めます。つぼみ組のお子さまは別の保育室で保育を行います。

また、在園の兄弟姉妹も保育します。

*6・13・20・27日 （木）運動遊び

*5・24日 絵画

- ・11日（火）耳鼻科健診 12：30
- ・12日（水）眼科健診 14：45
- ・12.13日（水・木）尿検査～幼児クラスのみ
15日 同園会 家庭保育のご協力ありがとうございます
- ・17日（月）歯科健診 10：00

子育て支援事業

- ・18日（火）アート
- ・25日（火）音楽

7月の予定

- ・5日（金）七夕



園庭には今年も紫陽花がたくさんの花を咲かせ、枇杷やヤマモモの木にも多くの実りがあり、もうすぐ収穫の時を迎えようとしています。毎年実がなりだすと1番乗りで食べるのは鳥たちです。小さな子ども色々な鳥が飛んでくるのを見て、かわいい声やことばを発して喜んでいますがだんだん大きな子どもたちになると「食べたたらだめー」と鳥を追いかおうとしたり、どんな鳥が来るのかをじっと見ていたりしながら、自分たちの口にしているものが食べられてしまったら困ることを知っています。今年もおいしいだろうことを私は知っています。楽しみです。先月の大人クッキングに参加して下さった保護者の方々ありがとうございました。時間通りに進まず、終わりの時間が遅くなってしまい申し訳ありませんでした。今後もアクシデントがあるかもしれませんが、「食」を通じてみなさまに楽しみながら参加していただける会を企画していきますのでお気軽にご参加下さい。次回は6月11日（火）です。詳細は後日お知らせさせていただきます。 主幹保育教諭 F

先日の運動はっぴょう会では、今年度より初めて平日の開催となりましたが、ご参加くださりありがとうございました。お子さまの保育園での姿、心の成長、そして共に育っている子どもたちの様子を感じていただけたのではと思います。大きな体操服に身を包んで登場したつぼみ組、とても可愛らしく園庭は笑顔に包まれましたが、大勢の中前に進むのはどれほど勇気が必要だったのでしょうか。いつも一緒に過ごしている友だちが隣にいてくれることがきっと心強く、背中を押してくれたのではと思います。友だちの存在が心地よいと感じるまでには、乳児期にたっぷり愛情を受け、安心すること、人を信じること、人と伝え合う経験が土台にあると考えます。沢山の愛情を受け、沢山の経験を重ねながら心を育てている子どもたちの成長の過程を、共に喜べる場として、一つひとつの行事を大切に行っていきたいです。

今回の運動はっぴょう会も沢山のダンディタイムの皆様にお手伝いいただきました。そして、子どもたちの様子を温かなまなざしで見守り応援して下さった保護者の皆様、皆で一緒につくりあげた場だからこそ、子どもたちも「やってみよう」「できた！」を感じられ大きな自信になったのではと思います。“こんな時期もあったな”“また一つ大きくなったら…”と、様々な気持ちで、めばえ組～だいち組の運動はっぴょう会の様子をDVDでご覧いただければ嬉しいです。

主幹保育教諭 K

先生のメッセージ

先日峰先生に会いに行ってきました。少し前までは仕事で毎日会って言葉を交わしていたので、会えなくなってとても寂しく感じていました。しかし、いざ会うと久しぶりに会った感じがなく、まるで毎日会っているような感覚でした。3人で会いに行ったのですが、3人とも同じ反応だったのでとても驚きました。みんなで近況を報告し合って同じ場所に泊まりとても充実した休暇を過ごすことができました。また、宿泊した施設のそばにたくさんの昆虫がいました。西宮で見たことのない模様のカメムシがいたり、ドアのそばに少し大きなシャクトリムシや足の長いクモがいて、観察することが楽しかったです。子どもたちも生き物に興味が出てき始めているので、子どもたちと図鑑で調べたり虫かごに入れて観察したりしながら一緒にこれからの季節を楽しみたいと思います。

N先生



保護者からのエピソード



園には長女、次女とお世話になって、今はつぼみの長男が通っている。長女は会社に向かおうとすると泣いて離してくれなくて、アライグマのチェスターの絵本を読んで前の日から準備したことを思い出す。自己主張の強い次女は仲間や先生との本音の生活で色々と学んだようだ。そんな2人の共通することは、卒園した今も保育園が大好きなことである。長男もこれから色んな楽しい思い出を作っていくと思うと楽しみだ。

先生には温かな見守りを、仲間達には心の底からのお付き合いをお願いしたいと思います。

つぼみ組 あきらさん

姉が卒園し1人で保育園に行くのを嫌がると思っていたのですが、親の心配をよそに毎日ルンルンで保育園に行っています。保育園のこともよく話してくれるようになりました。何故かお友だちの名前はフルネームで話してくれます。

いぶき組 あゆみさん

4月の保護者会では、子ども達の普段の園での遊びに大人も一緒に参加することができ、とても楽しいひと時でした。子どもの新たな一面を知ることができ、とくに次女が園庭で上手にダンゴムシを見つけては躊躇なく掴んで箱に集めている姿には驚きました。これからも保育園でいろいろな経験をして、成長して欲しいです。

つぼみ・だいち組 ゆうこさん

登園し先生へ受け渡しの際、別れが寂しく息子が泣いてしまう日がありました。それを見たクラスみんなは、そろそろと玩具を持って来て元気づけてくれました。息子は持ちきれません。その光景を見て、たまらなく微笑ましくなりました。

ふたば組 だいきさん

「今、保育園で1番楽しいことは何？」と聞くと、「てつぼう！」と答えた娘。迎えに行くと、小さな体で鉄棒につかまり、前まわりを見せてくれました。ついこの間まで、ぶら下がるのが精一杯だったのに！これからも、たくさんの「できた！」を経験し、成長して欲しいと思います。

いぶき組 みはるさん

保育園で創作活動がブームな娘は家でも兄の横に座って絵を描いたりして過ごす時間が増えました。そしてお料理のお手伝いにも最近は興味が出てきているようで、エプロンして台所に立つことも増えました。これから色んなことにどんどん興味を持ってチャレンジして欲しいです。

ひかり組 あきこさん

だいち組になり保育園での出来事を話してくれる事が増えました。エルマー展に行った日は、家にあるエルマーの本の挿し絵を見ながら、エルマーの羽の色の話や一緒に写真を撮ったこと、行き帰りの電車のお話を嬉しそうにしてくれました。これからも、色々な話を聞けるのが楽しみです。

だいち組 さちこさん

5月の子どもたちのようす



子どもたちの成長と共に、部屋の環境を変え、トンネルと鏡を設置しました。すりばいやはいはいをしている子ども達も鏡を見て楽しめるように低い位置に鏡を付けました。

トンネルは、中をくぐったり、つかまり立ちをしたり、遊び方は様々です。トンネルの隙間から友だちや保育者と目を合わせて嬉しそうな表情を見せてくれます。



絵の具あそびをしました。「なんだろう」と不思議そうに絵の具に触れています。一度触れると何度も自分から触り、絵の具の感触を楽しみました。大きな紙には可愛らしい手形や足形もできました。何にでも興味津々な子どもたちなので、これから暑くなっていくので、水や泥、葉っぱに触れ、「冷たい」「ヌルヌル」などを体験して感触あそびを楽しみます。



好きな色の花紙を選び、やわらかい感触や音に触れながら、指先を使ってちぎったり、丸めたり、広げたりすることを楽しみました。濡らした画用紙に花紙を貼って乾かすと、色が残る様子にも興味津々でした。



少しずつ気温が上がってきて、園庭では生き物たちが目を覚まし始めました。そんな生き物に興味が出てきた子どもたち。毎日ダンゴムシやオタマジャクシ、テントウムシなどに触れています。お友だちが触っているところと一緒に見たり、捕まえた生き物を保育者に見せに来てくれたりと、触れ合いを楽しむ姿が見られます。

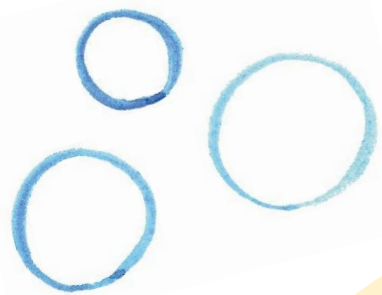


先日初めてのプレーパークにいぶき組のお友達と手を繋いで散歩に行きました。プレーパークの広々とした大自然の中で遊ぶことができて嬉しそうな子どもたちでした。パークには、大きな滑り台やタイヤのブランコ等があり、たくさん身体を動かして満喫して園に帰ることができました。



雨の日に室内で絵の具遊びをしました。絵の具が苦手な子どもも道具を使って手が汚れないようにすると夢中になって遊びを楽しんでいました。赤・緑・青の三原色を使って行い、色を混ぜ合わせて楽しむ様子も見られました。





ドーナツ屋さんでは「いらっしゃいませ」「いちごドーナツください」とお店屋さんやお客さんになりきって楽しんでいます。うんどうはっぴょう会では、フラフープをドーナツに見立てて大きなドーナツを作ることにしました。「バナナドーナツがいいな」「おいしそう」とワクワクしながら絵の具で塗りました。



なにを育てたいか子どもたちと話し合い、にんじんがいいと言う子どもたちの声がありベビーキャロットを育てはじめました。1人ひとつのポリポットに種をまき、水やりをしました。芽が生えてきたため、畑に引越しをしてみんなで育てています。「芽がでたね」と変化に気づき、観察することを楽しんでいます。おおきくなりますように・・・。



歌「どれみのうた」の音に合わせて身体を使いながら、歌っています。音が高くなるにつれてお腹・胸・頭と手の位置も高くなります。音の高低差を身体で感じながら、音に合わせて身体を動かして楽しんでいます。



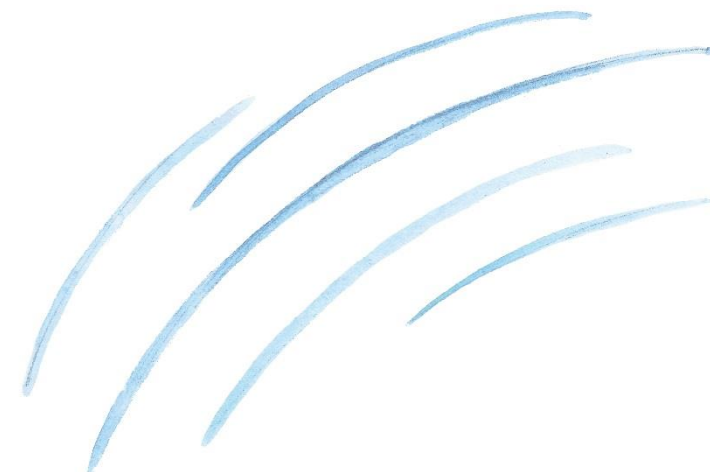
おにぎりクッキングをしました。とぎ汁が白く濁ることや、炊く前のお米が固いところなど一つひとつの発見を楽しみながら、お米を10合洗いました。炊き立ての温かいごはんで握った塩むすびを一口。「おいしいね」と味わいながら食べました。子どもたちでお米を洗うところから作ることで、普段の食事の中でも茶碗の中の一粒のこさずきれいに食べようねと話しています。



～イチゴジャムづくりは任せて～

一度、いちごジャムを作った経験から、ジャムづくりが大好きになりました。おやつにジャムトーストが出る日に、お昼ごはんが終わった後の「ひみつの時間」でみんなで作りました。今回は包丁で切る所からクッキングが始まりました。

少し緊張している様子も見られましたが、実際に切る事ができると嬉しそうな、達成感に溢れた表情を見せていました。これからもドキドキすることにも勇気を持ってチャレンジする機会を設けていきます。



お台所から

～今月の食育活動～

5月10日

だいちさんにたけのこのアク抜きやお鍋でコトコト煮る様子を見てもらいました。実際にたけのこを持って重さを体感してもらったり、匂いを嗅いだりと、少しでもたけのこを身近に感じてくれたかと思います。だいちさんと一緒にあく抜きしたたけのこは、次の日の「たけのこごはん」にしました。にんじんとうすあげを出汁で煮て、少量のしょうゆと酒で味付けをすれば美味しいごはんの完成です。たくさんおかわりもしてくれて嬉しかったです。



～エルマーの冒険展に行ったよ～

13日に明石市立文化博物館へ行きました。雨天の中でしたが阪神バスやJRを乗り継ぎ、流れていく景色をワクワクしながら眺めていました。エルマーのぼうけん展では、本の中に描かれていた絵を見つけたり、ワニの背中をジャンプで跳び越えたり、沢山の仕掛けを楽しみながら過ごすことができました。大きなりゅうにも出会い、「羽が金色だ」「だいちさんよりもっと大きいね」と出会えたことに喜びを感じているようでした。運動はっぴょう会の「ぼうけんに出発！」でも、子ども達が作ったエルマーやみかんの木などを使い、ストーリーの世界を表現することを楽しみました。



絵画遊びでは、異年齢の少人数に分かれて大きな模造紙にイーゼルを立てて絵を描きました。何を描くか事前に話し合うグループ、色の変化を繰り返し楽しむグループと各グループが思い思いに筆をはらせていました。「水をちょっと付けた方が描きやすいよ」「ここはたくさん塗ろう」と描きながら感じたことを話しながらのびのび描いていました。



5月15日

だいちさんとイチゴジャム作りのクッキングをしました。ヘタ取りから始まり包丁でイチゴを切る経験もしました。包丁をしっかりと持ち、持っていない方の手は猫の手にすることを伝え、怖そうにしながらも慎重に切ってくれました。切ったイチゴは水で綺麗に洗い、だいちさんが1人ずつ順番に混ぜながら美味しいジャムを作ることができました。園内にイチゴの甘い匂いが充満してとても幸せな気分になりました。子どもたちからも好評でイチゴに限らず違う果物でまた一緒にジャム作りをしたいと思います。



5月20日

いぶきさんにえんどう豆のさやから豆を出してもらいました。「これって何ていう豆なの？」と興味を持っている子や、「豆ごはん食べたことあるよ」と言って教えてくれる子もいました。さやから出た豆を使ってふっくらした美味しい豆ごはんがお昼ごはんに出してきました。「豆苦手なんだよな～」と言っていた子も少しだけでも食べようとしてくれて、子どもたちの成長をごはんを通して感じることで嬉しかったです。これからも季節の食材をたくさん取り入れたごはんを作っていきたいと思います。



～6月の献立・予定している食育活動～

6月のメニューにそら豆を入れました。子どもたちと一緒にホットプレートで焼き、自分で皮を剥いて食べる予定にしています。また、夏の果物のひとつである「すいか」も出てきます。暑い夏にぴったりのさっぱりとした「水ようかん」や「オレンジゼリー」もおやつに出てきます。日差しがまぶしくなってきた夏本番もあともう少しです。暑くなると食欲が落ちてしまいがちですが、食べやすい味付けや組み合わせを考えたごはんやおやつにし、食を通じて、じめじめした梅雨を楽しみ毎日していきたいと思います。

栄養士 H先生 N先生

6月のあそびへの思い



めばえ

保育園での生活にも慣れ、初めは砂の感触が苦手だった子どもも少しずつ外の世界に興味を広げ、冒険しようとしています。保育者と目が合うと笑顔でそばに来てくれるようになり、保育園が安心できる場所、保育者が安心できる存在となっていることに嬉しく感じます。また園庭で遊ぶ中で周りの人や自然など様々なものに興味が出てきています。これからもたくさんの楽しいことに会い、触れることで園での生活が楽しくなるように、感触遊びや自然と触れる機会をたくさん取り入れていきたいです。今月から新しいお友だちを2人迎え、8人のめばえ組となります。1対1での関わりを大切にしながら、ゆったり過ごしていきたいと思います。

ふたば

新しい環境にも少しずつ慣れて、安心して好きな遊びを見つけて過ごす姿が増えてきました。ふたば組では最近、泣いている友だちの頭を「よしよし」となでたり、玩具を渡してあげたりと微笑ましい姿が多く見られます。また、友だちがしている遊びが気になって、同じ玩具を探してみたり、友だちが使っているものが欲しくなったり・・・。周りの様子に気付いて興味をもってやってみようとする事も、大きな成長の一歩だと感じながら日々関わりを見守っています。また、身振り手振りで思いを伝えてくれていたのが、少しずつ「ちょうだい」「あっちいきたい」と言葉で伝えてくれるようになってきました。温かい雰囲気の中で安心して思いを伝えられるよう、ゆったりと丁寧な関わりを心がけていきたいと思います。

つぼみ

涼しさもある暑さから、じめじめとした暑い日が増えてきました。子どもたちは毎日元気につぼみでの生活を楽しんでいます。先月の運動はっぴょう会では、子どもたちの普段の運動あそびの様子を見ていただけたかと思います。ご参加下さりありがとうございました。最近では、室内で育てているアゲハチョウの幼虫も4匹がさなぎになりきれいな蝶になりました。アゲハチョウの幼虫から生き物への興味も広がり、クラスでは「はらぺこあおむし」の歌が子どもたちに大人気です。「げつようび〜げつようび〜りんごを1つたべました」とみんなで声をそろえて歌っています。



いぶき

日頃から身体を動かすことが大好きな子ども達は、音楽に合わせてポンポンやリボンを使ってダンスを踊ったり、リズムに合わせて表現をするを楽しんでいます。ダンディタイム特製の広い台をステージ台に見立て、子ども達が考えた振り付けでアイドルごっこをして遊ぶ様子も見られます。私自身、ダンスをしたり振り付けをしたりすることが大好きですので、一緒に楽しむことで自分を表現できる場があることに嬉しさを感じています。これからも子どもたちの心から楽しむありのままの姿を大切にしながら、音楽に合わせて身体を動かす楽しさを味わえるようにしていきたいです。

ひかり

美味しいお昼ごはんを食べたあと、絵本室で本を読みながら過ごしています。絵本室でゆったりと過ごす時間に、たまご型のライトを使い“たまごたいむ”が始まりました。色が移りゆく変化をじっと見つめながら、保育者と一日を振り返ったり、クラスの集いで読んでいる「おいしいのぼうけん」の話をしています。いつもの部屋の明るさとは違う環境で過ごすことで、自分の想いや、感じたこと、さっきは言えなかったけれど話してみたいことを“たまごたいむ”を通じて交わし、ほっと一息つける空間になりました。

だいち

「エルマーのぼうけん展があるけど、行ってみる？」と提案すると、目を輝かせて「行く！」と即答してくれた子ども達。行きたい気持ちはあるけれど、それと同時に「明石ってどこ？」「どうやって行くの？」と疑問もたくさん出てきます。保育者と一緒に地図を見ながら場所を確認したり、電車の路線図を見ながら相談を何度も重ねました。電車が好きな友だちが知っていることを伝え、他の子どもたちも初めて聞く情報ながら真剣に考える表情が見られました。これからも、得意なことを友だちに伝えることで、自信に繋がって欲しいと願っています。

はまかせ

運動はっぴょう会ごっこから、異年齢の関わりも徐々に深まってきています。ペアの子がリレーで走る姿を見て「頑張れ！あとちょっと！」と応援したり、縄跳びを跳べるようになったことを自分のことのように喜んだり「一緒に歩いたね」と顔を見合わせながら嬉しそうに話しています。お兄さんお姉さんが見ている安心感から挑戦してみようとする姿や友だちや先生、お家の人に見てほしい姿など、それぞれの場面で子どもたちの『やってみたい』の輪が広がっています。最近では、気温も暑くなり水遊びが始まりそうです。一人ひとりの発見や気づきも大切に、友だちと協力し合うことの楽しさが感じられる遊びを進めていきます。